

## 数値目標の設定について

### 1. 基本的な考え方

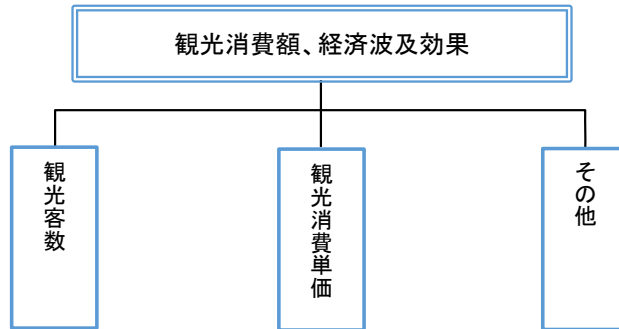
#### (1) 呉市としての大局的な観点からの数値目標

呉市観光振興計画の数値目標は、①観光を呉市の基幹産業とする、②今後の人口減少による市内総生産の減少を観光消費額で補完する、という大局的な観点をふまえて設定します。

#### (2) 因数分解の観点から組み立てた数値目標

数値目標の設定（特に上記②）に際しては、観光消費額とそれに伴う経済波及効果を最上位の数値目標とし、観光消費額を因数分解する形で、すなわち観光客数、観光消費単価などを掛け合わせて観光消費額を推計する形で、一連の数値目標を設定します。

図表 1 因数分解（諸項目の掛け算）による数値目標の設定

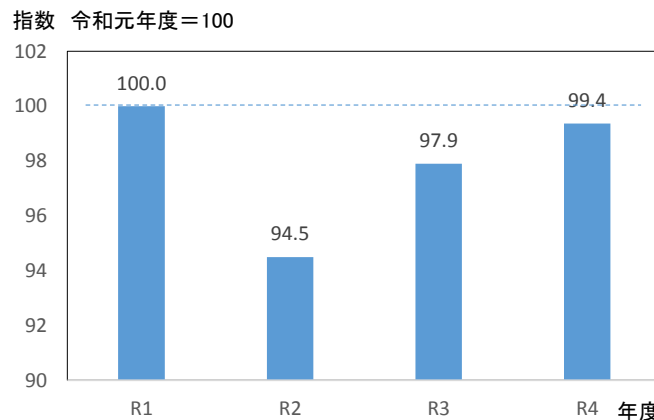


#### (3) 新型コロナウイルス前の水準に回復するのは令和5年度以降の見通し

日本銀行の「経済・物価情勢の展望」に記載されている「政策委員の大勢見通し」によると、全国の実質 GDP は令和2年度-5.5%、令和3年度+3.6%、令和4年度+1.6%となっています。これらの伸び率を、令和元年度を100とする指数に換算すると、令和4年度は99.4となり、新型コロナウイルス前の令和元年度の水準をわずかに下回る見通しとなっています。

このことから、本計画の対象期間の初年度にあたる令和4年度は、新型コロナウイルスの影響からの回復途上にあり、本計画における数値目標の成果がはっきりとした形で確認できるようになるのは令和5年度以降になる可能性が考えられます。

図表 2 日本銀行「政策委員の大勢見通し」による実質 GDP の見通し



(資料)日本銀行「経済・物価情勢の展望(令和2年10月)」

## 2. 数値目標の検討

### (1) 観光を呉市の基幹産業とする観点からの検討

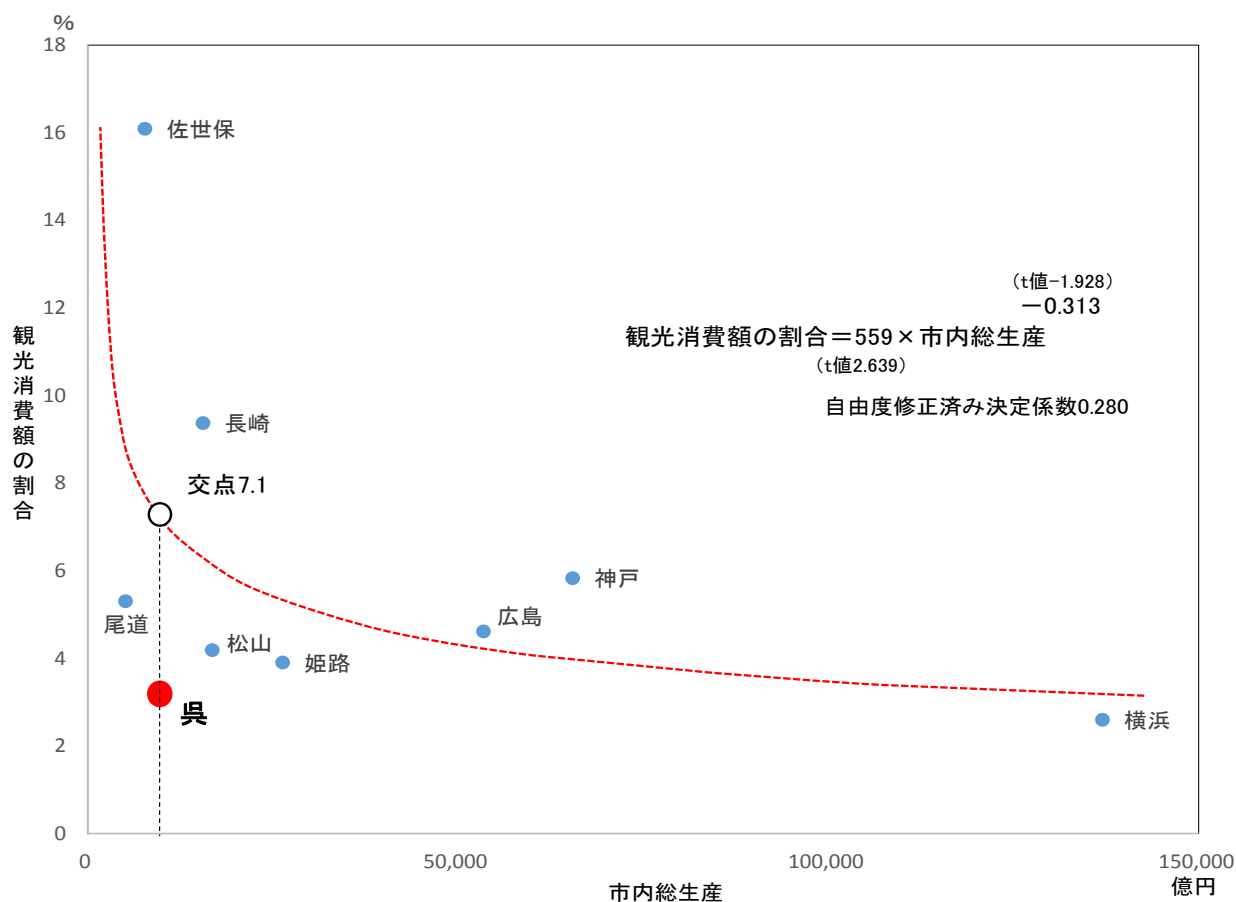
ある地域において「観光が基幹産業となっている」ことを確認するための一般的な基準は見当たりません。

そこで、ここでは、観光消費額と市内総生産の両指標を公表している全国的に有名な観光都市の中から重化学工業が盛んな都市を抽出し、横軸に市内総生産、縦軸に市内総生産に対する観光消費額の割合を配置した散布図を作成し、平均的な傾向を表す曲線を書き込みました。

この図をみると、市内総生産（平成 29 年度 1 兆 1,191 億円）に対応する観光消費額の割合は 7.1% となり、市内総生産ベースの金額に換算すると約 800 億円（ $\approx 1$  兆 1,191 億円  $\times$  7.1%）となります。

このように、重化学工業が盛んであり、かつ全国的に有名な観光都市であると認識されるための観光消費額は約 800 億円であると考えられることから、「観光を呉市の基幹産業とする」という観点からをふまえた数値目標の一例として、「観光消費額 800 億円」が考えられます。

図表 3 重化学工業が盛んな観光都市における市内総生産と観光消費額の割合（平成 29 年）



(注) 姫路市は「中播磨地域」(姫路市、神河町、市川町、福崎町)の実績。

(資料) 各市及び所在県ホームページ等より作成

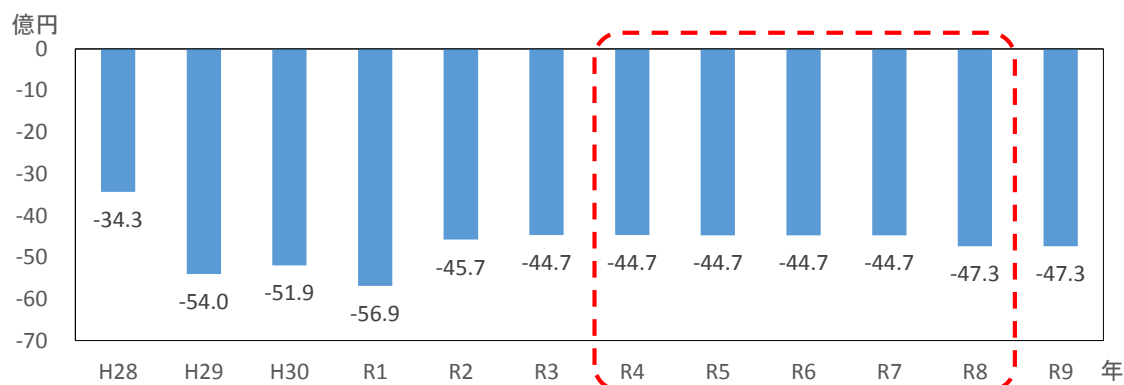
## (2) 今後の人口減少による市内総生産の減少を観光消費額で補完する観点からの検討

以下では、「今後の人口減少による市内総生産の減少を観光消費額で補完する」観点から、2種類の数値目標の考え方を説明します。

### i. 毎年の市内総生産の減少額を観光消費額で補完する

今後の人口減少による市内総生産の減少額は、毎年約45億円となることが予想されます。

図表4 今後の人口減少による個人消費と民間住宅投資の減少見込額（呉市）



本業務では、数値目標を検討するため、観光客数（宿泊客数と日帰り客数）、観光消費単価などを入力することにより、市内総生産と経済波及効果を試算できる EXCEL シートを作成しました。

このシートに、観光客数や観光消費単価等の入力項目に様々な値を代入しながら、観光消費額が約45億円となる値の組み合わせを探索しました。このような値の組み合わせ方は無数にありますが、その一例として、以下のものがあげられます。

図表5 数値目標例

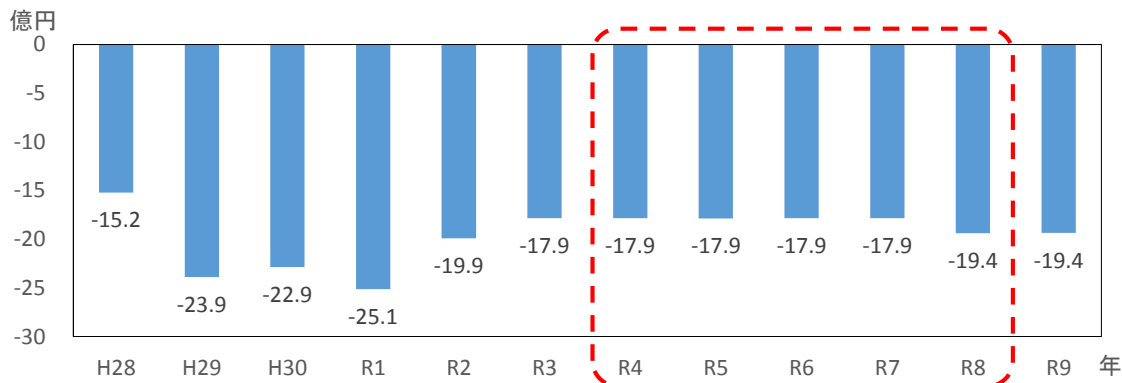
観光客（宿泊客、日帰り客） 増加人数	観光消費単価 増加額
約30万人（+10.0%）	600円

以上の試算結果から、数値目標として、「毎年の観光消費増加額45億円」とあわせて、それを実現するために必要である上表の2項目を、数値目標とすることが考えられます。

ii. 毎年の市内総生産の減少による「経済波及効果」の減少額を補完する

前述の「毎年の市内総生産の減少額（約 45 億円）」に伴う経済波及効果の減少額は毎年約 18 億円になると予想されます。

図表 6 今後の人口減少による経済波及効果の減少見込額（呉市）



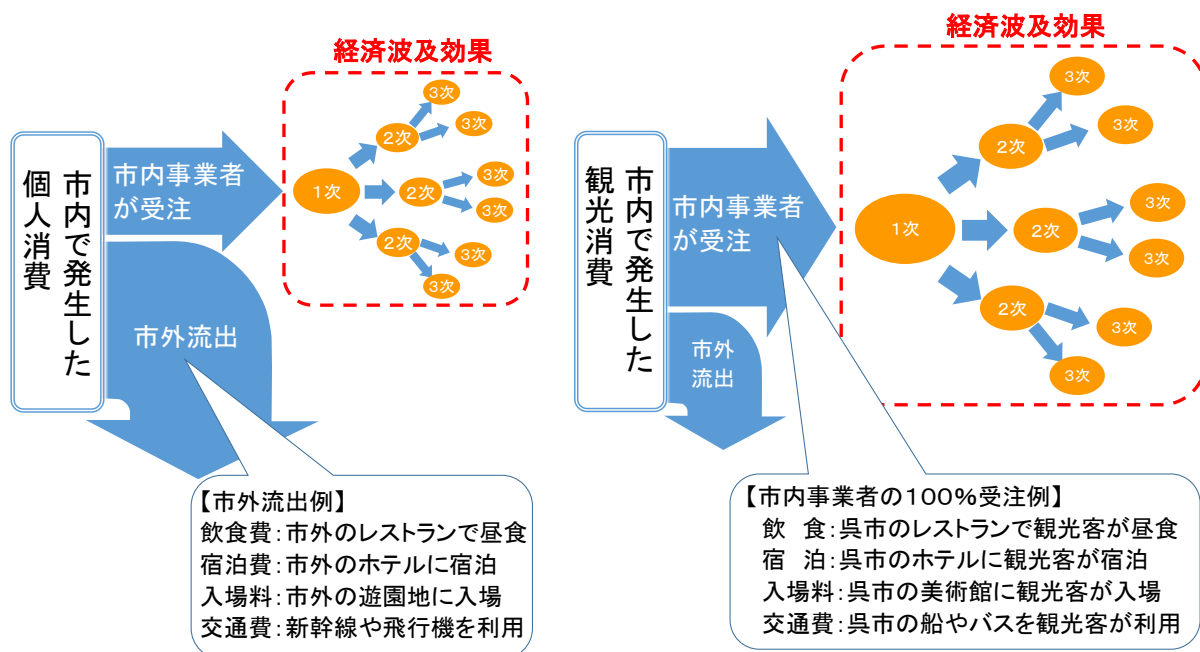
呉市民の個人消費に伴う経済波及効果は、市内全体の個人消費から、市外で生産された商品の購入額（市外へ流出する金額）を控除し、残りの金額（市内事業者が受注する金額）から 1 次、2 次、3 次のサプライヤー等に網の目状に発注される仕事の総額を計算して算出します。つまり、経済波及効果は、個人消費により市内の事業者が発生した仕事の総合計を意味します。

呉市民の個人消費では、多くの費目で市外流出がみられます。観光関連の費目をみると、「飲食費」については、呉市民が市外で食事をした金額は「市外流出」になります。同様に、「宿泊費」、「入場料」、「交通費」等についても、呉市民が市外でお金を使うと「市外流出」になります。

一方、観光客の消費では、市外流出が少ないという特徴がみられます。観光消費の金額では、観光客が呉市内で食事をしたり、宿泊したりする金額が計上されるため、費目によっては、ほぼ 100%を呉市内の事業者が受注することになります。

このように、呉市民の個人消費から発生する経済波及効果は小さく（倍率が低く）、観光客の消費から発生する経済波及効果は大きく（倍率が高く）なる傾向がみられます。

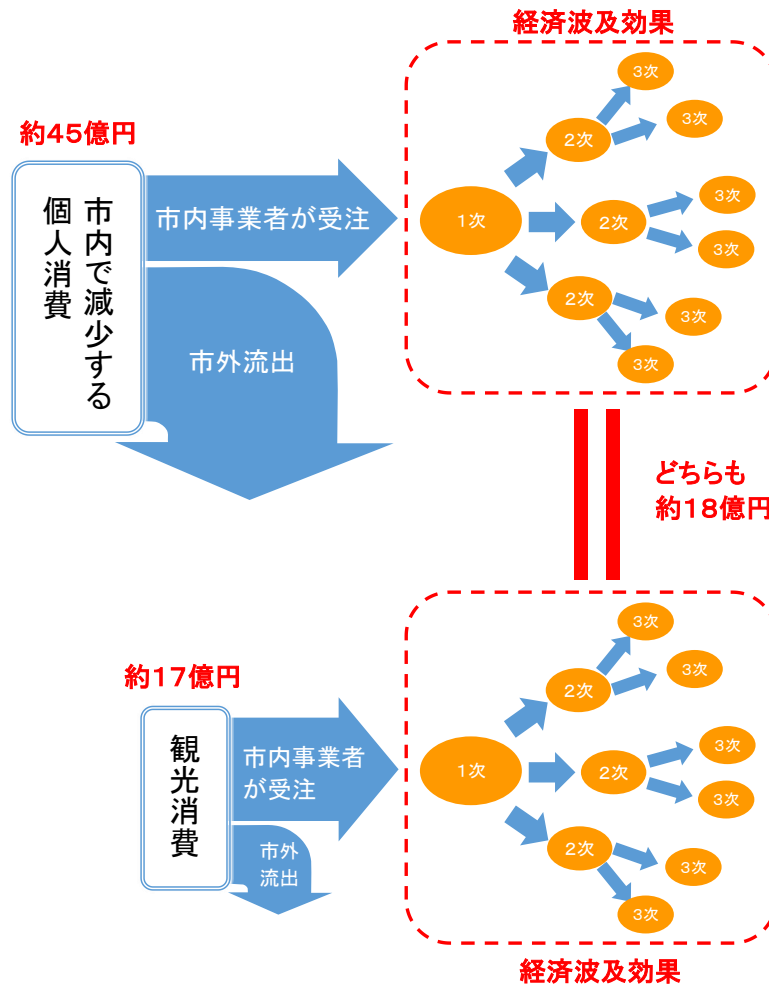
図表 7 呉市民の個人消費における経済波及効果の特徴



前ページのとおり、基本的には、観光客の消費とそれによる経済波及効果の倍率は、呉市民の個人消費とそれによる経済波及効果の倍率を上回ると考えられます。

この関係を利用すると、約 45 億円の個人消費の減少により、経済波及効果（市内の事業者が受注する仕事の総合計）が約 18 億円減少することが見込まれますが、この約 18 億円を観光消費で補完する場合は、必要とされる観光消費は約 17 億円で足りることになります。

図表 8 呉市民の個人消費と観光客の消費の違いを活かした数値目標の考え方



このように、今後の人口減少による個人消費の減少額を補完するのではなく、その減少に伴う経済波及効果（市内の事業者が受注する仕事の総合計）を補完するという観点に立つことにより、「観光消費増加額約 17 億円」、「経済波及効果増加額約 18 億円」という数値目標を設定することが考えられます。

前述した試算シートを用いると、経済波及効果が約 18 億円となる値の組み合わせの一例として、以下のものがあげられます。この時、観光消費増加額は約 17 億円となります。

図表 9 数値目標例

観光客（宿泊客、日帰り客） 増加人数	観光消費単価 増加額
約8.4万人（+2.7%）	300円
約5.0万人（+1.6%）	400円
約1.9万人（+0.6%）	500円

### (3) 満足度

満足度の数値目標として、観光客の満足度、呉市民の満足度の2種類について説明します。

#### i. 観光客の満足度

現在、呉市では観光客の満足度調査を実施していませんが、今後、以下のような項目を盛り込んで実施することが必要と思われます。

数値目標としては、満足度100%とする必要があります。

図表10 観光客満足度の主な調査項目例（国土交通省のサンプル調査票）

お答えいただいたご本人様の性別、年齢、居住地を教えてください。

性別	男・女	年齢	代（例：50代等でお答え下さい）	居住地	都・道・府・県
----	-----	----	------------------	-----	---------

本地域での、今回の滞在の総合満足度はどのくらいですか？（〇は、1つだけ）

大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満
7	6	5	4	3	2	1

親しい友人に本地域を紹介したいですか？（〇は、1つだけ）

大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
7	6	5	4	3	2	1

1年以内に、本地域への来訪を検討しますか？（〇は、1つだけ）

大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
7	6	5	4	3	2	1

本地域での以下の項目はどのように感じられましたか？（〇は、それぞれ1つ）

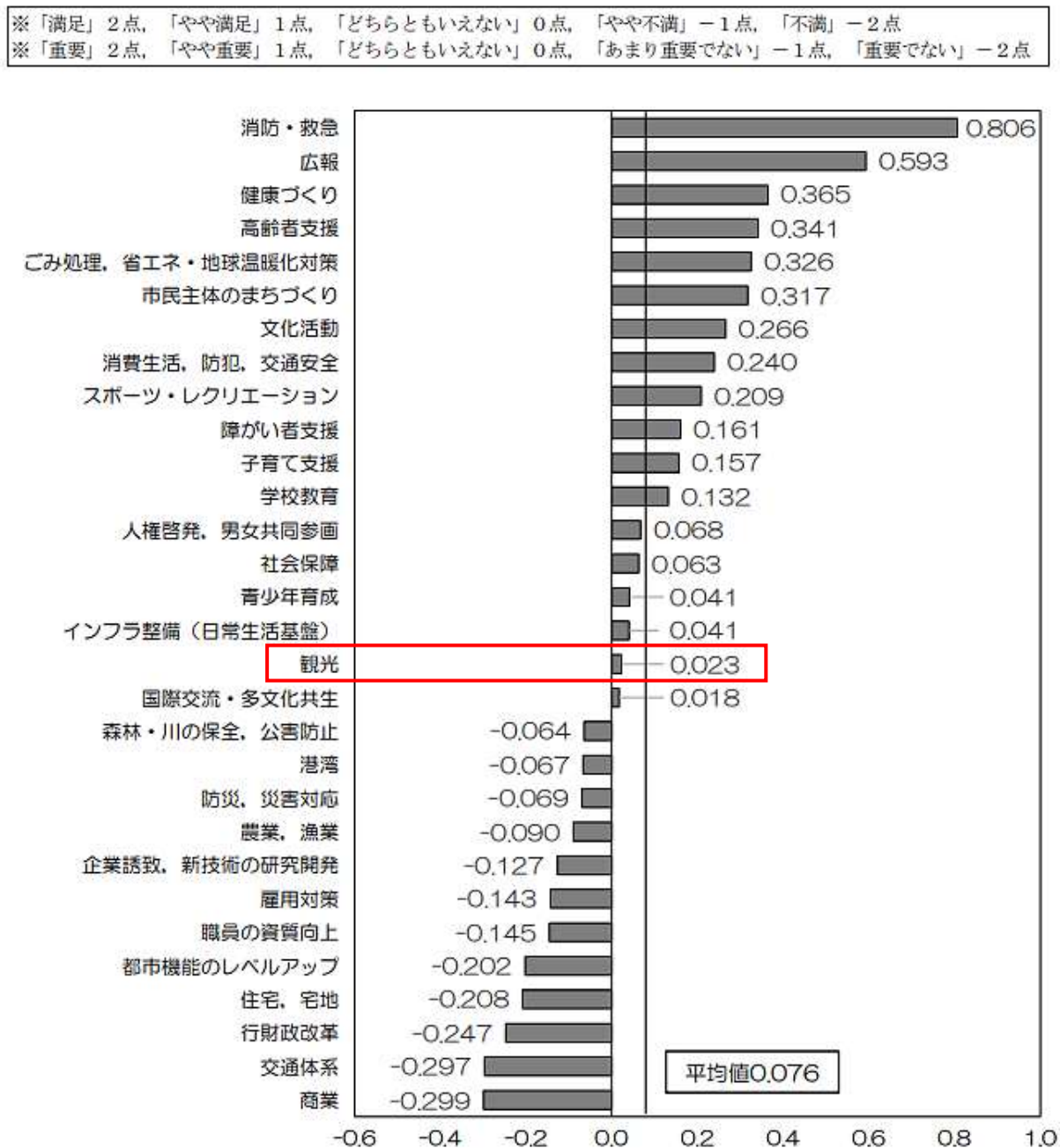
		大変良かった ←————→ 大変悪かった						
①景観・雰囲気	1.自然景観や雰囲気	7	6	5	4	3	2	1
	2.街並みの景観や雰囲気	7	6	5	4	3	2	1
②宿泊施設 （日帰り利用も含む）	3.部屋の質	7	6	5	4	3	2	1
	4.従業員のおもてなし	7	6	5	4	3	2	1
③観光・文化施設	5.施設・体験の内容	7	6	5	4	3	2	1
	6.従業員のおもてなし	7	6	5	4	3	2	1
④飲食施設	7.食事の内容	7	6	5	4	3	2	1
	8.店員のおもてなし	7	6	5	4	3	2	1
⑤物販施設	9.土産物・商品の内容	7	6	5	4	3	2	1
	10.店員のおもてなし	7	6	5	4	3	2	1
⑥費用負担	11.費用の適切さ	7	6	5	4	3	2	1

（資料）国土交通省「観光客満足度調査のススメ」

ii. 呉市民の満足度

呉市民の満足度については、5年に一度実施される「呉市民意識調査」で把握されています。市民が回答する際の評点のつけ方が、「満足」2点、「やや満足」1点、「どちらともいえない」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点。0点ですので、全体平均で「1点以上」となることを、数値目標として設定する必要があります。

図表 11 呉市民の「観光」に関する満足度（呉市民意識調査）



(資料) 呉市「呉市民意識調査」(令和元年度)

### 3. まとめ

#### (1) 数値目標例のとりまとめ

これまで述べてきた数値目標例をまとめると、下表のとおりです。

図表 12 数値目標例

		観光消費額、経済波及効果に関する目標					満足度	
		観光消費増加額	毎年の増加目標				観光客	呉市民
			観光消費増加額	増加経済波及効果	観光客増加人数	増加観光消費単価		
観光を呉市の基幹産業とする		約500億円	-	-	-	-		
観光市内総消費額で補完する	今後の市内総生産の減少による	-	45億円	-	約30万人(+10.0%)	600円	満足度100%	呉市民意識調査 満足評点1点以上
	毎年の市内総生産の減少による経済波及効果の減少額を補完する	-	約17億円	約18億円	約8.4万人(+2.7%)	300円		
					約5.0万人(+1.6%)	400円		
					約1.9万人(+0.6%)	500円		



## (2) 数値目標の組み合わせ例

図表 12 において、毎年の市内総生産の減少による経済波及効果の減少額を補完するため、「毎年の観光消費額を約 17 億円ずつ増加させる」という目標を設定した場合の、観光消費単価を毎年平均 300 円～500 円ずつ増加させる事例を示しました。

そのうち、観光消費単価を毎年平均 500 円ずつ増加させる目標を設定した場合、令和 4 年度（見込み）を起点とする連続した数値に換算すると、図表 13-1 及び図表 13-2 のような数値目標の組み合わせ例が考えられます。

図表 13-1 は、宿泊客の観光消費額単価を毎年 1,000 円ずつ増加させ、かつ宿泊客数を毎年約 1%ずつ増加させた場合の組み合わせ例となります。日帰り客よりも単価の高い宿泊客の単価と客数を増加させることにより、日帰り客の単価は毎年約 400 円増、客数においても毎年約 0.5%増で目標値に到達することとなります。

図表 13-1 観光消費額+17 億円を実現できる数値目標の組み合わせ例①

全体単価+500円 宿泊単価+1000円 宿泊客数+1%			R4	R5	R6	R7	R8
全体単価			8,300	8,800	9,300	9,800	10,300
宿泊	円		16,200	17,200	18,200	19,200	20,200
日帰り			7,000	7,400	7,900	8,300	8,700
全体客数			3,008	3,031	3,051	3,068	3,085
宿泊	千人		408	412	416	421	425
日帰り			2,600	2,618	2,634	2,648	2,660
観光消費額			249	266	283	300	317
宿泊	億円		66	71	76	81	86
日帰り			183	195	207	219	231

(注 1) 令和元年度と同 4 年度の各数値が同じ値になると仮定

(注 2) 全体単価は十の位を四捨五入、全体客数及び観光消費額は小数点以下第一位を四捨五入、以下同様。

図表 13-2 は、宿泊客の観光消費額単価を毎年 2,000 円ずつ増加させ、かつ宿泊客数を毎年約 1%ずつ増加させた場合の組み合わせ例となります。このように、観光消費額を毎年約 17 億円ずつ増加させるという目標を設定した場合の消費単価と客数の組み合わせは無数に考えることができます。

図表 13-2 観光消費額+17 億円を実現できる数値目標の組み合わせ例②

全体単価+500円 宿泊単価+2000円 宿泊客数+1%			R4	R5	R6	R7	R8
全体単価			8,300	8,800	9,300	9,800	10,300
宿泊	円		16,200	18,200	20,200	22,200	24,200
日帰り			7,000	7,300	7,500	7,800	8,100
全体客数			3,008	3,031	3,051	3,068	3,085
宿泊	千人		408	412	416	421	425
日帰り			2,600	2,618	2,634	2,648	2,660
観光消費額			249	266	283	300	317
宿泊	億円		66	75	84	93	103
日帰り			183	191	199	207	214

### (3) 今後の検討課題

図表 12 に示した「経済波及効果 18 億円」の目標を達成する際には、「観光事業者間における呉市産品取引額」を増加させ、地域内循環を向上させることも必要です。地域内循環の拡大は、本市の観光振興において重要な課題であると認識していますので、本事業において引き続き検討していきます。

また、呉市におけるインバウンドやリピーターの動向把握、市民満足度についても、経済波及効果を算出するための項目として、今後検討していきます。

#### 【参考】

もし、全ての呉市民（令和 2 年 9 月末時点：218,777 人）が、年間消費支出（全国平均：約 130 万円）の 1%弱に相当する「1 万円」を、呉市内で生産・提供されている商品やサービスの購入に費やした場合、大きな経済効果が期待できます。

このような推計を、以下の前提条件のもとで実施しました。

《推計の前提条件》	
1 人当たり金額	： 1 万円
対象者	： 218,777 人
費目	： 上記 1 万円を、日帰り観光客の支出内訳（食事、買い物、交通費、宿泊費、体験等）の比率で案分。

推計結果は、以下のとおりです。

《推計結果》	
観光消費額	： 21 億 89 百万円（※ 1）
経済波及効果	： 24 億 33 百万円

本推計の観光消費額を、P9 の図表 13-1 に記載されている観光消費額と合計すると、下表のとおりとなります。

図表 14 呉市民が呉市産品に 1 人 1 万円支出した場合の金額を追加した観光消費額

	R1	~	R4	R5	R6	R7	R8
観光消費額 (P9 図表 13-1)	249 億円	~	249 億円	266 億円	283 億円	300 億円	317 億円
本推計額 (※ 1)	-	~	22 億円	22 億円	22 億円	22 億円	22 億円
合計	249 億円	~	271 億円	288 億円	305 億円	322 億円	339 億円

(注) 令和元年度と同 4 年度の各数値が同じ値になると仮定